

正 誤 表

『ガンマ線透過写真撮影作業主任者テキスト』（第5版）において、
下記のとおり誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

中央労働災害防止協会

平成30年5月

頁/ 行	現 行	修 正 後
72 頁 15,6 行	…線源固有の定数である。 すなわち実効線量率定数 による。	…線源固有の定数の実効 線量率定数である。
72 頁 20 行	…実効線量率定数（以下この	…実効線量率（以下この
72 頁 22 行	43290	$\frac{43.29}{1000}$ (注： μSv を mSv に換算)
74 頁 13 行	量透過率を 利用するとよい。	量透過率 (Fa) を 利用するとよい。
74 頁 13 行	(Fa) は,	(P : 96 頁の表 2-1 では, Fa) は,
74 頁 23 行	…実効線透	…実効線量透
75 頁 2 行	$P = B \cdot e^{-\mu x}$	$P = \frac{I}{I_0} = B \cdot e^{-\mu x}$
75 頁 8 行	… 1 cm線量は,	… 1 cm線量当量は
75 頁 11 行	$D = \frac{1.3}{11.3} = 0.115$	$\underline{P} = \frac{1.3}{11.3} = 0.115$